

宮城地方最低賃金審議会
宮城県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報
通信機械器具製造業最低賃金専門部会（第2回）議事要旨

| | | |
|------|--|-------------------------|
| 開催日時 | 令和4年10月11日（火） | 午後2時30分 ～ 午後5時10分 |
| 出席状況 | 公益を代表する委員 | 出席3名 定数3名 |
| | 労働者を代表する委員 | 出席2名 定数3名 |
| | 使用者を代表する委員 | 出席2名 定数3名 |
| 主要議題 | (1) 金額審議について (2) その他 | |
| 議事要旨 | (1) 金額審議について ○労働者側より35円引上げの提示。 根拠は、使用者側に歩み寄り。地域最賃との優位性現状104.3%をプラス0.5%の104.8%とした。 ○使用者側より19円引上げの提示。 根拠は、歩み寄り。経団連の今年度の春季労使交渉の資料、中小企業の電気機器製造業の改定率2.17%を掛けた。 ○労働者側より33円引上げの提示。 根拠は、2円歩み寄り。過去を振り返ると電機の実態に沿って上げてこれなかった経緯がある、使側のプラス19円では足りない。コロナも終息し電機産業を発展させなければならない。 ○使用者側より22円引上げの提示。 根拠は、歩み寄り。日銀の2022年7月の経済・物価情勢の展望の参考資料の中に低所得者ほど当面する物価上昇率が高くなっている。前回根拠とした2.17%に、低所得者の物価上昇率と勤労者世帯平均の物価上昇率との差0.3%を加え、2.47%とし、これを掛けた。 ○合意に至らず。 (2) その他 事務局より、第3回目の審議日程について説明があった。 | |